



(財) JKA補助事業 平成22年度事業概要

(3)超電導産業に関する国際連携推進事業（国際超電導産業サミット）

平成22年10月5日（火）～6日（水）、イタリア、セストリレバンテで第19回国際超電導産業サミット（ISIS-19）が開催され、日、米、欧、ニュージーランド、及び韓国から約50名の参加があった。今次会合では、韓国のISISへの正式加盟が全会一致で認められ、サミットの正式メンバーは日米欧、ニュージーランド、韓国の5カ国となった。サミットメンバー国それぞれからの基調講演、超電導プロジェクトの現状と将来、実用化に向けた課題と国際協力に関し、講演及び意見交換が行われた。

今次会合の重要なディスカッション・ポイントは、実用化拡大に向けた課題と国際協力の在り方であった。高温超電導技術の本格的実用化に向けては、市場をいかにデマンドプルに切り替えていくか等解決すべき課題も多く、現在世界で進められている超電導応用機器の開発、実証プログラムを着実に進め、超電導応用機器の優位性を目に見える形で示して、将来のユーザーの信頼と確信を得ることが重要である。会議の場でも、超電導技術の価値を明確な形で示すこと、ユーザーの意見をくみ上げる必要がある等の意見が出された。

今回韓国が新規メンバーとして加盟したこともあり、今後サミットが一層発展し、国際的にも議論が広がっていくことが期待される。次回会合は、2011年度、韓国で開催されることが合意された。



ISIS-19 講演 超電導工学研究所 塩原所長

※ISIS-19については超電導 Web21 バックナンバー2010年11月号に詳細が記載されているためご参照下さい。 http://www.istec.or.jp/web21/pdf/10_11/all.pdf